

初級教科書の対話に埋め込まれた社会規範

—社会文化行動に注目して—

伊藤 誓子(埼玉大学)
保坂 敏子(日本大学)

1 背景と目的

言語と文化は切り離すことができないことを前提に、初級教科書から無意識のうちに伝わる文化的メッセージを捉えて、異文化間理解の日本語教育に生かすべく、研究活動を進めている。教科書の会話に見られる「対話」からは、決まった或いは暗黙の規範のもとに行われている文化的な行動を読み取ることができる。そこで、この度の発表では、初級教科書に提示されている対話の背景にある「社会規範」に焦点を当て、教科書ごとにその傾向を出し、その扱いについて考察した。

2 分析方法と分析例

本研究では、「社会規範」を「社会文化的に望ましいとされる行動」と定義した。分析対象の教科書と該当部分は、『できる日本語』（初級本冊）の各課「言ってみよう」の会話例とそのイラストと『まるごと』（入門A1）の「課のまとめ」の会話とそのイラスト及び写真である。分析方法は、1. それぞれの対象箇所の対話、イラスト、写真から社会文化的な行動を読み取り、規範と見受けられることがらを記述する→2. まとまりと見られる一連の行動に「社会規範」のラベルをつける→3. 教科書ごとに傾向を出す、という流れで行った。

2.1 『できる日本語』の分析例

学校帰りに電車の中でクラスメイトと話しているイラスト (5課イラストから)

分析：社会規範—電車の中では椅子に座るか立っている時は吊革につかまる。(安全のため) ⇒ ラベル：電車の中の非言語行動の規則

<社会規範のラベル例>

*会話から = マナー [学校で・(寮での) 改まった場で・・・]、習慣 [花見・学生の日常生活・・・]、手順 [レストランで注文する・病院で診察を受ける・・・]、規則 [公共・喫茶店・・・]

*イラストから = マナー [教室での挨拶の時・相手を指し示す時・・・]、習慣 [誕生日・定番の料理・・・]、手順 [飲食店支払い]、規則 [ショッピング店員・飲食店店員・電車の中・・・]

2.2 『まるごと』の分析例

A：おさきに しつれいします。 B：おつかれさまでした。(1課の会話から)

分析：社会規範—職場などで目上の人より先に帰る時自分から丁寧に挨拶する。

⇒ ラベル：公共の場でのマナー

<社会規範のラベル例>

*会話から＝マナー [公共の場で・教室で・職場で・・]、習慣 [朝ご飯・規則正しい生活・・]、手順 [家族紹介・レストランでメニューを決める・・]、規則 [職場 (お店) で]

*イラスト・写真から＝マナー [挨拶・教室で・指し示す時・・]、規則 [ハンバーガーショップの店員]

3 分析の結果と考察

分析の結果、『できる日本語』の対話、イラストからわかる社会文化行動に埋め込まれた社会規範は以下のものであった。

対話から：マナー18件、習慣5件、手順3件、規則2件

イラストから：マナー8件、規則6件、習慣4件、手順1件

内容を分析すると、その特徴は、**学校生活を基盤とした人々に必要な社会規範が導き出され、そこで、よりよく振る舞える行動を教えようとしている**と言える。これを踏まえ、教師は、学習対象者と会話の状況を意識し教えることで文化を取り込んだ授業ができる。学習者は、日本の生活で必要となる確率の高い状況やふるまいが提示されていることでより動機づけられると考えられ、更に、それを知った上で、自らの持つ文化背景における社会規範との相違に気付いて意見を持つような授業展開が期待できる。

一方、『まるごと』の対話、イラストからわかる社会文化行動に埋め込まれた社会規範は以下のものであった。

対話から：マナー18件、習慣7件、手順5件、規則1件

イラスト及び写真から：マナー6件、*規則1件

内容を分析すると、その特徴は、**多様な文化背景の登場人物がいて、多様な文化背景同士の対話を前提にしているものの、広く一般に通用する日本の社会文化的な規範に則った行動、ステレオタイプ的な行動を教えようとしている**と言える。これを踏まえ、教師は、会話の示すステレオタイプ的な社会文化行動を顕在化させ、それを学びのリソースとする意識で扱うことが効果を生むと考える。学習者は互いに自らの国の行動と比較し、その社会規範に改めて気づき、比較して意見交換する活動が期待できる。

<参考文献>

北折充隆 (2000) 「社会規範とは何か」 Bulletin of the Graduate School of Education and Human Development, Nagoya University (psychology and Human Development Sciences), Vol.47, 155-165.

中村慎佑他 (2008) 「社会規範からの逸脱行動の様相と類型—社会的規模の普遍性と可変性に関する研究 (1) —」 関西大学総合情報学部 紀要「情報研究」第29号

ネウストプニーJ.V. (1995) 『新しい日本語教育のために』大修館書店

保坂敏子・伊藤誓子・中村愛・長谷川紀子(2014) 「初級教科書に埋め込まれた文化的行動」 韓国語日文学会冬季国際学術大会予稿集

山田泉 (2001) 「異文化間コミュニケーションと日本語教育」『日本語教育を学ぶ人のために』 pp.198-209、世界思想社